



朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL048-461-0042

令和7年5月1日
児童数 747名

「あたたかな言葉あふれる二小に」

校長 渡辺 貴子

新緑の若葉にすがすがしさを感じる季節となりました。学校の花壇では、色とりどりの花が咲き、子供達を出迎えてくれています。

先日、1年生を迎える会が行われました。上級生の思いが、たくさん込められた会で、大変素晴らしかったです。1年生も元気いっぱいあいさつや歌を発表しました。気持ちのそろった元気な声が体育館いっぱいに広がって、心が明るく、あたたかくなるような場面がたくさんありました。子供たちの真剣なまなざしと純粋な気持ちに心が揺さぶられました。1年生も安心して学校生活が送れることと思います。参加して頂いた学校運営協議会の委員の皆様にも子供らしい素直で活気のある二小の子供達の様子を褒めていただきました。

さて、先日子供たちの授業の様子を観ていた時のことです。落ちていた消しゴムに気づいた子が、消しゴムを拾って友達に手渡すとその友達は「ありがとう」とすぐにお礼を言ったのです。それを見て、私はとてもうれしい気持ちになりました。

みなさんが感謝の気持ちを込めて使う「ありがとう」は、漢字では「有難う」有ることが難しいことと書きます。昔は「有難し(ありがたし)」とって「めったにないこと」という意味で使われていました。それが「めったにないことをしていただいて感謝します」という意味に変わっていきました。また、言葉は「言霊(ことだま)」とって、その人の魂(たましい)・心が入っているという意味がもとになっています。

言葉は人を元気にしたり、安心させたりする力があります。でも使い方を間違えると、人を傷(きず)つけることもあります。いつも相手のことを考えて丁寧に使いたいものですね。

では、みなさんが思いつく、人の心をあたたかくするような言葉、心が通いあう言葉は



何ですか。毎日のあいさつ「おはようございます」「さようなら」感謝の気持ちをあらわす「ありがとうございます」そして失敗したら「ごめんなさい」許してあげるの「いいよ」さらには、1年生を迎える会で上級生がたくさん使っていた「大丈夫」「安心してね」「わたしたちがついているよ」たくさんありますね。

あたたかい言葉がいっぱいあふれる朝霞第二小であることを願っています。